令和６年度　指定管理者年度総合評価表

（令和６年４月～令和７年３月実施分）

作　成　日	令和7年6月5日

■指定管理者概要

施　設　名	グリーンプラザなんごう	
所　在　地	八戸市南郷大字中野字舘野4-4	
施設概要	設置目的：恵まれた自然環境とのふれあいを通して、都市住民との交流を図り、地域振興に資する。 構　　造：鉄筋コンクリート造２階建て 運用方針：南郷地域における地域内外の交流拠点として幅広いサービスを提供。	
指定管理者	名　　称	なんごうプラザ株式会社
	代表者	代表取締役　曾我　安博
	所在地	八戸市南郷大字市野沢字中市野沢44-33
指定期間	令和６年４月１日 ～ 令和11年３月31日	
指定管理者の業務	・グリーンプラザなんごうの使用許可に関する業務 ・グリーンプラザなんごうの施設、設備等の維持管理に関する業務 ・その他市長が必要と認める業務	
市所管課（問合せ先）	総合政策部　南郷事務所　地域振興グループ	
	電　話	0178-82-2113（直通）
	e-mail	nango@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評　価	新型コロナウイルス感染症が５類感染症に移行した後も、手指消毒等の基本的な感染症対策を継続して営業を行った。 農産物直売所は、天候の影響により、さくらんぼやりんごの陳列数が例年より減少した。地元業者の加工品や当社オリジナル商品の開発等、商品を充実させることでの増加を図ったが、前年度の実績を下回る結果となってしまった。食堂事業は、仕入食材の高騰や、電気、ガス、水道等経費の高止まり、人手不足による影響により提供メニューを限定し対処したため、利用者数は前年度と比べ同程度であったが、収支は赤字となった。 宿泊部門では、冬期における八戸ワイン付き特別夕食プランを引き続き提供する等、前年度より利用者数が増加した。 施設の老朽化に伴う備品の入れ替えや修繕を順次進めており、市担当者と情報を共有し、施設利用者へのサービス提供に支障がない時期に実施することができた。
今後の目標	引き続き基本的な感染症対策を実施しながら営業を行う。 農産物直売所の納品者が減少していることから、引き続き、納品者を八戸市全域に拡大募集し、農産物陳列数の充実を図る。また、南郷地域に特化した当社オリジナル商品の開発も継続して進める。 宿泊部門では、合宿プランを周知、提供し、飲食部門では、南郷そばをメインに南郷地域の特徴を活かしたメニューを開発、提供する。 老朽化した施設内の備品や機器の更新計画については、市と協議･連携を取りながら進めていく。 今後も、安心･安全に施設を管理運営することで、利用者数向上に寄与し、南郷地域の振興につなげていきたい。

■市（所管課）の総合評価

評　価	施設・設備等の保守点検や清掃業務を堅実に行っており、安全かつ快適な環境整備に努めていた。経年劣化による施設等の修繕箇所を早期に発見し、市と連絡を密にしながら適切に修繕を実施していた。宿泊部門では、合宿プランをＰＲする等して利用者数を増加させることができた。 食堂部門及び直売所部門の利用者数は横ばいであるが、原材料費の高騰により収支が赤字となったことから、積極的な新規取組や仕入れの工夫等の実施により、利用者の増加及び収支改善を期待したい。
指摘事項	特になし。

［評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、―評価不能］

■管理運営状況に係る個別評価

1　管理状況

指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	○	業務基準書に示された開館時間や休館日が遵守されていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が順守されていた。
障がい者の雇用状況	○	提案内容のとおり雇用していた。
協働のまちづくりへの協力	○	提案内容とおおむね同水準の地域貢献活動が行われていた。 ・施設前歩道の清掃、草刈り、除雪作業を行った。 ・南郷地域の関係団体と協力して「南郷の日」イベントを開催した。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が十分できていた。 ・法令に従い、適正に避難訓練を実施していた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い	○	利用料金の設定は適切で、各種媒体を使い確実に周知されていた。
利用料金の減免	○	減免手続が適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑をそれぞれ別の社員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	―	事例なし。
付保する保険	○	協定書で指定する保険に加入していた。 ・自動車保険（任意）に加入していた。 ・食品営業賠償共済に加入していた。

指定管理開始前における準備	―	前期（令和元年度～５年度）に引き続き、今期（令和６年度～10年度）においても継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	―	今期（令和６年度～10年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
重要事項の変更の届出	―	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。 （使用制限、使用条例の変更、入場拒否はなかった。）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。 下記の特殊業務については、外部委託を実施し、報告書等で実施内容を確認した。 ・ボイラー点検　・防火設備点検　・消防設備点検 ・重油地下タンク点検　・貯水槽点検　・建築設備点検 ・廃棄物処理

２ 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
宿泊・研修施設利用状況 （指定管理業務）	○	宿泊施設利用者数は前年度実績を上回ったが、研修施設利用者数は前年度実績を下回った。 宿泊施設：令和５年度　1,893人 令和６年度　2,028人（対前年度比 107.1%） 研修施設：令和５年度　1,723人 令和６年度　1,676人（対前年度比 97.3%）
直売所・食堂利用状況 （指定管理附帯業務）	○	直売所利用者数は前年度実績を若干上回ったが、食堂利用者数は前年度実績を若干下回った。 直売所　：令和５年度　134,485人 令和６年度　135,117人（対前年度比 100.5%） 食　堂　：令和５年度　38,387人 令和６年度　38,262人（対前年度比　99.7%）
自主事業	○	「南郷の日」イベント、新そばまつり、雪蛍まつり等を実施し、利用者確保につなげたほか、地域住民との交流促進と活性化を図っていた。
その他の取組 （運営に関する工夫）	○	季節による繁忙期や作業内容に応じ、南郷そば振興センターやジャズの館南郷間で人員を調整するなど、スケールメリットを活かした効率的な施設運営を行っていた。

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明
指定管理業務の収支状況	△	人件費や維持管理経費等の節減に努めたものの、原材料費の高騰により収支目標を達成することはできず、赤字収支となった。

（単位：円）

	項目	収支計画	収支実績	前年度実績
収入①	利用料金	20,957,300	11,063,300	9,631,540
	指定管理料	1,523,000	1,523,000	0
	附帯業務繰入金	50,250,000	44,150,462	66,681,111
	自主事業繰入金	2,510,800	2,811,046	235,819
	電気・ガス価格高騰対策支援補助金	－	－	436,000
	東北電力節電達成特典金	－	－	26,223
	修繕料繰越金	0	0	37,646
	計	75,241,100	59,547,808	77,048,339
支出②	人件費	42,180,000	38,884,610	51,269,196
	維持管理経費	22,637,280	20,497,410	19,969,718
	事業費・一般事務費	1,313,824	353,124	452,034
	租税	4,662,726	3,517,934	5,147,871
	計	70,793,830	63,253,078	76,838,819
次年度修繕料繰越金③		0	0	0
収入-支出(①-②-③)		4,447,270	△ 3,705,270	209,520

指標	評価	評価に対する説明
自主事業の収支状況	○	

（単位：円）

事業名	収入	支出	収支	備考
そば打ち体験	19,080	0	19,080	
自動販売機等設置事業	2,807,662	15,696	2,791,966	収入は自動販売機の販売手数料

4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	施設内に意見箱を設置し、利用者の意見や要望を集め、その結果を活かす仕組みができていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設概要や利用方法等をホームページ等で積極的に周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	意見箱を設置していた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等がなかった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。（運用実績なし）
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。（運用実績なし）
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。 ・包装紙の代わりとして、新聞紙の再利用に努めた。 ・マイバック推進のため、レジ袋を有料とした。
障がい者への配慮	○	来館者の話をよく聞き、話が的確に伝わるように明確に、ゆっくり、丁寧に話し、必要に応じてパンフレット等の資料で説明を行っていた。

■他の事業評価実施状況

1　セルフモニタリング

	実施状況
自主点検状況	・毎日、日常業務始業前に、施設･設備を目視点検した。 ・電気、水道、ガス等のメーターを毎日２回確認し、使用量を記録することで、設備の不具合の発見に努めた。

2　定期モニタリング

	実施状況
定期報告状況	月例報告書及び事業報告書が提出され、内容も適切であった。

3　随時モニタリング

	実施回数	実施日	実施者	実施内容
実地調査状況	15回	4月2日,11日,22日	担当	・施設運営状況、修繕状況等の確認
		6月20日	担当	・打合せ
		9月24日	担当	・現地確認
		10月10日,17日,18日,24日	担当	・次年度計画に係る打合せ、現地確認
		11月13日,22日	担当	・修繕状況等の確認、現地確認
		12月9日,18日	担当	・打合せ、現地確認
		2月19日	担当	・現地確認
		3月18日	担当	・個人情報取扱状況実地検査
	実施結果			
	施設や設備の劣化故障等が確認された場合は、市と協議して修繕対応若しくは修繕計画に反映させた。			

令和６年度　指定管理者年度総合評価表

（令和６年４月～令和７年３月実施分）

作　成　日	令和7年6月5日

■指定管理者概要

施　設　名	八戸市南郷そば振興センター	
所　在　地	八戸市南郷大字中野字舘野1-1	
施設概要	設置目的：南郷の特産物であるそばの生産及び消費拡大を図り、地場産業の育成に努める。 構　　造：鉄骨造平屋建て 運用方針：南郷の特産物である「そば」の安定的な生産と消費拡大に資する。	
指定管理者	名　　称	なんごうプラザ株式会社
	代表者	代表取締役　曾我　安博
	所在地	八戸市南郷大字市野沢字中市野沢44-33
指定期間	令和６年４月１日 ～ 令和11年３月31日	
指定管理者の業務	・八戸市南郷そば振興センターの使用許可に関する業務 ・八戸市南郷そば振興センターの施設、設備等の維持管理に関する業務 ・その他市長が必要と認める業務	
市所管課（問合せ先）	総合政策部　南郷事務所　地域振興グループ	
	電　話	0178-82-2113（直通）
	e-mail	nango@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評　価	令和６年度は、天候に恵まれ、前年度より受託作業量は増加したが、そば生産者との調整を綿密に行うことで、滞りなく終えることができた。一方で、施設繁忙期のみ雇用していた短期アルバイトの確保が困難になっており、通年に近い雇用の影響で人件費が高止まりしている。南郷そばの周知、宣伝のために道の駅なんごうで営業しているそば屋台は、好評であることから、今後も継続していきたい。 老朽化による施設内設備、備品についても、市と相談･協議しながら年次計画を立て、更新することができた。
今後の目標	機械設備の維持管理が重要な業務であると考えている。繁忙期の円滑な作業のために、日頃のメンテナンスを怠ることなく行い、施設利用者とのコミュニケ―ションも大切にしていきたい。 天候の影響により業務量が左右され、運営が難しい施設ではあるが、地域の重要な役割を担う施設であると考えており、今後も、南郷そばの周知･宣伝により、地域の特産品の知名度を向上させることで、施設の利用率向上につなげていきたい。

■市（所管課）の総合評価

評　価	日常業務において施設及び備品の状態確認を行い、小破修繕の迅速な対応及び点検の実施など適切な管理運営を行っていた。 当該施設利用者のほとんどがそば生産者であり、天候やそばに係る各種施策等により取扱数量が大きく左右される中、生産者との連絡調整を確実に行い滞りなく業務を遂行していた。
指摘事項	特になし。

［評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、―評価不能］

■管理運営状況に係る個別評価

1　管理状況

指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	○	業務基準書に示された開館時間や休館日が遵守されていた。 ・繁忙期となるそば収穫期は、利用者の利便を図るため、休日も開館していた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
障がい者の雇用状況	―	障がい者の雇用はなかった。
協働のまちづくりへの協力	○	提案内容とおおむね同水準の地域貢献活動が行われていた。 ・施設前歩道の清掃、草刈り、除雪作業を行った。 ・南郷地域の関係団体と協力し「南郷の日」イベントを開催した。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が十分できていた。 ・法令に従い、適正に避難訓練を実施していた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い	○	利用料金の設定は適切で、各種媒体を使い確実に周知されていた。
利用料金の減免	○	減免手続が適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑をそれぞれ別の社員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	―	事例なし。
付保する保険	○	協定書で指定する保険に加入していた。 ・自動車保険（任意）に加入していた。
指定管理開始前における準備	―	前期（令和元年度～５年度）に引き続き、今期（令和６年度～10年度）においても継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	―	今期（令和６年度～10年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
重要事項の変更の届出	―	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。（使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。 下記の特殊業務については、外部委託を実施しており、報告書等で実施内容を確認した。 ・消防設備点検　・電気保安業務 ・機械警備　・浄化槽保守点検

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
そば刈取・乾燥調整業務利用状況（指定管理業務）	○	そばの作付け作業前の段階から生産者と連絡を取り合うことで施設の利用調整を図り、滞りなく作業を実施した。 刈取面積：令和５年度　2,083a 令和６年度　2,242a（対前年度比　107.6%） 乾燥調整：令和５年度　89t 令和６年度　118t（対前年度比　132.6%） ・取扱量は天候や作況等により変動するものであるため、数値による評価はしない。
施設貸出利用状況（指定管理業務）	○	利用状況は、おおむね例年並みであった。 乾燥設備：　令和５年度　91人　令和６年度　79人 選別設備：　令和５年度　98人　令和６年度　92人 製粉設備：　令和５年度　48人　令和６年度　42人 製麺設備：　令和５年度　0人　令和６年度　1人 汎用コンバイン：　令和５年度　28人　令和６年度　24人
その他の取組（運営に関する工夫）	○	繁忙期となるそば収穫期は、利用者の利便を図るため、休日も開館し、作業を滞りなく実施した。

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明
指定管理業務の収支状況	○	適切な業務運営により、黒字であった。

（単位：円）

	項目	収支計画	収支実績	前年度実績
収入①	利用料金	5,300,000	4,603,230	3,673,074
	指定管理料	12,962,000	12,962,000	10,688,000
	附帯事業収入	4,500,000	4,467,598	6,437,440
	特産そば産地形成奨励金	1,200,000	1,016,000	1,041,500
	東北電力節電達成特典金 前年度：電気・ｶﾞｽ価格高騰対策支援補助金	－	387	106,000
	修繕料繰越金	0	0	3,736
	計	23,962,000	23,049,215	21,949,750
支出②	人件費	11,760,000	11,993,648	12,192,083
	維持管理経費	6,304,070	4,352,067	5,223,345
	事業費・一般事務費	3,135,000	4,015,943	2,898,830
	租税	1,320,266	1,334,655	1,257,052
	計	22,519,336	21,696,313	21,571,310
次年度修繕料繰越金③		0	0	0
収入-支出(①-②-③)		1,442,664	1,352,902	378,440

4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者は主にそば生産者であり、事前に協議する等、利用者の満足が得られるような体制をとっていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設の概要をホームページにより周知していた。 ・ホームページのほか、新規利用者にはその都度利用方法を説明した。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望等の受付体制を明示し、周知していた。
苦情・要望等への対応	―	苦情・要望等がなかった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。（運用実績なし）
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。（運用実績なし）
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した省エネルギーへの取組や、リサイクルの推進等が適切に行われていた。
障がい者への配慮	○	障がい者が来館した際は、施設の利用について、明確にゆっくり丁寧に説明し、必要に応じて筆談等で対応する体制を整えていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング

	実施状況
自主点検状況	・毎日、日常業務始業前に、施設・設備を目視点検した。 ・電気、水道のメーターを毎日２回確認し、使用量を記録することで、設備の不具合の発見に努めた。

2 定期モニタリング

	実施状況
定期報告状況	月例報告書及び事業報告書が提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング

	実施回数	実施日	実施者	実施内容
実地調査状況	9回	4月2日	担当	・施設運営状況、修繕状況等の確認
		5月13日、16日	担当	・現地確認
		8月6日	担当	・電気工作物工事現地確認
		9月25日	担当	・次年度計画に係る打合せ
		2月28日	担当	・工事完了検査立会い
		3月18日	担当	・個人情報取扱状況実地検査
		3月21日、26日	担当	・備品納品検査、打合せ

	実施結果
実地調査状況	施設や設備の劣化故障等が確認された場合は、市と協議して修繕対応若しくは修繕計画に反映させた。

令和６年度　指定管理者年度総合評価表

（令和６年４月～令和７年３月実施分）

作　成　日	令和7年6月5日

■指定管理者概要

施　設　名	ジャズの館南郷	
所　在　地	八戸市南郷大字中野字舘野4-4	
施設概要	設置目的：地域住民に文化的交流の場を提供し、ジャズを通じた広域的な交流により地域の活性化を図る。 構　　造：鉄筋コンクリート造　平屋建て 運用方針：ジャズを通じて他地域の住民との交流と地域の活性化を図る。	
指定管理者	名　　称	なんごうプラザ株式会社
	代表者	代表取締役　曾我　安博
	所在地	八戸市南郷大字市野沢字中市野沢44-33
指定期間	令和６年４月１日 ～ 令和11年３月31日	
指定管理者の業務	・ジャズの館南郷の使用許可に関する業務 ・ジャズの館南郷の施設、設備等の維持管理に関する業務 ・その他市長が必要と認める業務	
市所管課（問合せ先）	総合政策部　南郷事務所　地域振興グループ	
	電　話	0178-82-2113（直通）
	e-mail	nango@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評　価	当施設は、南郷地域のシンボル的な施設であり、地域内で通年ジャズに触れることのできる唯一の場所である。 令和６年度は、ソフトクリームの提供について周知を図ったこと、また、ジャズを楽しむために来館する利用者以外にも、休憩する利用者や、屋外のそば屋台購入者による利用も増加した。 無料ジャズライブも、無事に年４回実施することができた。また、毎年11月開催のライブを「南郷産業文化まつり」とタイアップしたことで、メイン会場からの誘客にもつながったと考えている。
今後の目標	引き続き、年４回の無料ジャズライブや自主事業でのライブを開催し、利用者の増加を図る。このうち、11月開催分は、南郷産業文化まつりの日程に合わせて開催し、誘客増加を図りたい。 また、販売が好調なデザートメニューについても、新たなメニューを考案し、利用者の増加を図り、施設の活性化に寄与したい。

■市（所管課）の総合評価

評　価	施設及び備品の点検や清掃業務を堅実に行ったほか、経年劣化による備品等の修繕は、市と連絡を密にしながら実施した。また、優れた音響機器を活用し、利用者にジャズを体感してもらうジャズタイムを実施するなど、利用者の多様なニーズに対応すべく努めた。 年４回のジャズライブを実施したほか、道の駅利用者へ施設周知促進活動を積極的に行ったが、前年度に比べ利用者数は、ほぼ横ばいであったことから、今後の魅力あるライブ企画等に期待したい。
指摘事項	特になし。

［評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、―評価不能］

■管理運営状況に係る個別評価

1　管理状況

指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	○	業務基準書に示された開館時間や休館日が遵守されていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
障がい者の雇用状況	―	障がい者の雇用はなかった。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が十分できていた。 ・法令に従い、適正に避難訓練を実施していた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い	○	利用料金の設定は適切で、各種媒体を使い確実に周知されていた。
利用料金の減免	○	減免手続が適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑をそれぞれ別の社員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	―	事例なし。
指定管理開始前における準備	―	前期（令和元年度～５年度）に引き続き、今期（令和６年度～10年度）においても継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	―	今期（令和６年度～10年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
重要事項の変更の届出	―	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。 （使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。 下記の特殊業務については、外部委託を実施し、報告書等で実施内容を確認した。 ・消防設備点検　・建築設備点検　・機械警備　・ピアノ調律

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
施設利用状況 （指定管理業務）	△	令和６年度から集計方法を見直し、イベント使用時の観客を集計外とし、申請団体の利用人数を集計することとしたため、前年度と比較して減少した。 令和５年度　985人（対前年度比 255.8%） 令和６年度　642人（対前年度比　65.2%）
ジャズイベント実施状況 （指定管理附帯業務）	○	無料ジャズイベントを開催し、集客に努めた。 令和５年度　445人（対前年度比 ―） 令和６年度　430人（対前年度比 96.6%） （イベント内容） ５月　馬場葉子 Piano Trio　100人 ９月　Conversa Latin Jazz Live　60人 11月　中沢中学校ジャズバンド部ライブ(２部制)　160人 ３月　MIYUKI＆FRIENDS　110人
自主事業	○	無料開放時間帯を、ランチタイムと音響機器を活用したジャズタイムに分け、軽食や休憩目的の利用者、音楽鑑賞を目的とする利用者、双方に満足してもらえるように努めた。 無料開放時来館者　令和５年度　17,356人 無料開放時来館者　令和６年度　18,303人　（対前年度比 105.5%） 飲食利用者数　令和５年度　7,310人 飲食利用者数　令和６年度　7,393人　（対前年度比 101.1%）

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明
指定管理業務の収支状況	○	適切な業務運営により、黒字であった。 （単位：円）

	項目	収支計画	収支実績	前年度実績
収入①	利用料金	126,360	153,900	133,920
	指定管理料	8,042,000	8,042,000	6,760,000
	自主事業繰入金	983,000	1,215,134	856,793
	東北電力節電達成特典金 前年度：電気・ｶﾞｽ価格高騰対策支援補助金	－	－	62,000
	修繕料繰越金	0	0	114,800
	計	9,151,360	9,411,034	7,927,513
支出②	人件費	4,765,000	5,015,300	3,657,801
	維持管理経費	2,572,920	2,750,341	2,552,824
	事業費・一般事務費	648,000	633,706	663,898
	租税	539,130	547,907	428,253
	計	8,525,050	8,947,254	7,302,776
次年度修繕料繰越金③		0	0	0
収入-支出(①-②-③)		626,310	463,780	624,737

指標	評価	評価に対する説明
自主事業の収支状況	○	レストラン事業の認知度向上の取組を継続した結果、売上が増加した。 レストラン事業　（単位：円）

	収支実績 （６年度）	前年度実績 （５年度）	備考
収入	3,208,225	2,774,085	飲食代売上げ
支出	1,993,091	1,917,292	食材仕入代
収入-支出	1,215,134	856,793	

4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	接客時の会話等により、利用者の満足度の把握に努めていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設概要や利用方法等をホームページで積極的に周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	意見箱を設置していた。
苦情・要望等への対応	―	苦情・要望等がなかった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。（運用実績なし）
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。（運用実績なし）
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。
障がい者への配慮	○	来館者の話をよく聞き、話が的確に伝わるように明確に、ゆっくり、丁寧に話し、必要に応じてパンフレット等の資料で説明を行っていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング

	実施状況
自主点検状況	・毎日、日常業務始業前に、施設・設備を目視点検した。 ・電気、水道のメーターを毎日２回確認し、使用量を記録することで、設備の不具合の発見に努めた。

2 定期モニタリング

	実施状況
定期報告状況	月例報告書及び事業報告書が提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング

	実施回数	実施日	実施者	実施内容
実地調査状況	4回	4月2日	担当	・施設運営状況、修繕状況等の確認
		9月5日	担当	・現地確認
		10月10日	担当	・次年度計画に係る打合せ
		3月18日	担当	・個人情報取扱状況実地検査

	実施結果
実地調査状況	施設や設備の劣化故障等が確認された場合は、市と協議して修繕対応若しくは修繕計画に反映させた。